

海賊対処の第22次派遣部隊が無事任務を終え帰港する

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第22次隊）帰国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のための第22次派遣水上部隊が、本年7月5日に日本を発って以来、約5か月半ぶりとなる2015年12月18日に佐世保基地（長崎県）へ帰港した。

同部隊は、第5護衛隊司令（豊住太1等海佐）の指揮の下、護衛艦「あきづき」（麻生康晴艦長）および同「さわぎり」（佐藤剛艦長）の両艦で、乗員約400名（海上保安官8名同乗）により編成され、アデン湾にて22回に及ぶ護衛活動を実施した。

帰国行事では、若宮健嗣防衛副大臣、及び重岡康弘自衛艦隊司令官（北川文之開発隊群司令代読）より派遣隊員への訓示などが述べられた。

当協会からは、日本郵船（株）赤峯専務経営委員、（株）商船三井 根本専務執行役員、NSユナイテッド（株）三浦取締役常務執行役員他が出席し、派遣部隊の指揮官らにお礼を申し上げるなど、護衛艦乗員の方々のご苦勞に対しあらためて感謝の意を表した。

（海務部 小山）

佐世保帰国行事



入港する護衛艦「さわぎり」



入港する護衛艦「あきづき」



栄誉礼を受ける若宮防衛副大臣



派遣隊員に訓示を行う若宮防衛副大臣



派遣隊員に重岡自衛艦隊司令官の訓示を代読する北川開発隊群司令



当協会を代表して隊員の方々に対し感謝の意を申し述べる日本郵船 赤峯専務経営委員



派遣部隊を横断幕と共に迎える当協会関係者